

研究区分	教員特別研究推進（国際共同研究・国際交流の促進）
------	--------------------------

研 究 テーマ	Critical care nursing に関する integrated literature review : コンケン大学との共同研究プロジェクト				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	操 華子
	研究協力者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ
		所属・職名	看護学部・共同研究員	氏名	宮澤 典子
		所属・職名	看護学部・助教	氏名	栗田 真由美
		所属・職名	看護学部・講師	氏名	鈴木 郁美
		所属・職名	コンケン大学・准教授	氏名	Wasana Ruaisungnoen
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Donwiwat Saensom
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Nonglak Methakanjanasak
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Busaba Somjaivong
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Piches Ruangsuksud
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Maliwan Silarat
		所属・職名	コンケン大学・助教	氏名	Wiphawadee Potisopha
	発 表 者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ

講演題目
Trends and Challenges in Critical Care Nursing Research in Japan: A comprehensive Literature Review
研究の目的、成果及び今後の展望
コンケン大学看護学部と本大学看護学部は、2006 年 10 月に部局間協定を締結、11 月には大学間交流協定を締結している。その後、2014 年 12 月にコンケン大学看護学部と静岡県立大学看護学部の学部長間で交換留学合意し、学生のみならず教員間の交流も実施してきている。2024 年 10 月には、コンケン大学看護学部成人看護学の教員 10 名の視察を本大学看護学部が受け入れた。その際、コンケン大学看護学部と本大学看護学部は共同研究プロジェクトを立ち上げ、第 1 回会合を対面で実施した。本共同研究プロジェクトの目的を以下の 2 つとした。1. タイと日本の critical care nursing 領域における現在の動向、挑戦、ベストプラクティスについて探求する。2. タイと日本の critical care nursing の現在の動向、挑戦、ベストプラクティスを比較する。上記の目的を達成するために、タイ語、英語、日本語で発表されている論文を検索し、Preferred Reporting Items for Systematic Review and Meta-analysis (PRISMA) の手法に則り、integrated literature review を実施している。 本セッションでは、2025 年 11 月に開催された KKU カンファレンスで発表した、日本における critical care nursing の現在の動向、挑戦、ベストプラクティスに関する包括的文献レビューの結果を発表する。最終的には 156 編の日本語論文を研究デザイン、探求内容、研究対象者、研究場所について分類した。今後の課題として、質的研究結果の臨床現場への適応、実験研究デザインの実施、患者中心のケアならびに看護師の安寧を強化するベストプラクティスの推進があげられた。